

もう一度徹底しましょう！

新型コロナウイルス感染症防止対策



「新しい生活様式」を
実践するツッコ〜！

新型コロナウイルス感染症

(以下「新型コロナ」)の感染

拡大からもうすぐ一年。依然として収束の兆しを見せるどころか、第3波の到来とも言われ全国各地で新規感染者や重症者が増え続けています。

また、経済活動の再生に関するさまざまな施策が活用されるも、急速な感染拡大や医療現場のひっ迫などが大きな問題となり、あらためて新型コロナに対する脅威を感じざるを得ない状況となっています。

千葉県においても店舗や事務所、社会福祉施設などでのクラスター感染の発生が相次ぎ、新規感染者数が増加していることから、今後も急速な感染拡大が懸念される中で一人一人が「新しい生活様式」を実践し、感染防止対策を講じることが必要となります。

●「新しい生活様式」の実践

〈ポイント①〉

新型コロナウイルスも季節性インフルエンザも「飛沫感染対策」が重要！

- ・発熱などの症状がある方は外出を控えましょう。
- ・症状がなくても感染している可能性を考え、**会話を楽しむ際にはマスクの着用**に努めましょう。

- ・寒い時期でも**適度に換気しながら加湿**することで感染リスクを下げましょう。

〈ポイント②〉

「接触感染」にも注意が必要です！

- ・外にあるものに触ったとき、外から帰ったとき、咳・くしゃみ・鼻をかんだとき、食事の前など**こまめに手を洗**いましょう。

〈ポイント③〉

店舗や職場などでの「感染防止対策」を徹底しましょう！

- ・業種別ガイドラインを確実に実践しましょう。
- ・体調がよくない場合は出勤しない、させないようにしましょう。

- ・休憩室、喫煙所、更衣室などでも**感染防止対策を徹底**しましょう。(休憩時間に入ったときなど、居場所が切り替わりと環境の変化などにより感染リスクが高まる場合があります)

●感染防止対策の意識を高める

一人一人の行動で感染リスクを下げることができます。「新しい生活様式」や感染リスクが高まる「5つの場面」をご確認いただき、あらためて感染防止対策に対する皆さんのご理解とご協力をお願いします。

●医療機関の受診について

発熱などの症状がある方が医療機関を受診する際は、必ず事前に電話で連絡をしてから受診するようにしてください。

また、かかりつけ医がなく相談先や受診先の医療機関が分からない場合などは、次の相談先に電話でご相談ください。

【千葉県発熱相談コールセンター】

☎03-6747-8414

(土日、祝日含む24時間対応)

【芝山町保健センター】

☎77-11891

(平日午前8時30分〜午後5時15分まで対応)

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会など

- ・飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下します。また、聴覚が鈍麻し大きな声になりがちです。
- ・敷居などで区切られている狭い空間に、長時間大人数が滞在すると感染リスクが高まります。
- ・回し飲みや箸などの共用が感染リスクを高めます。

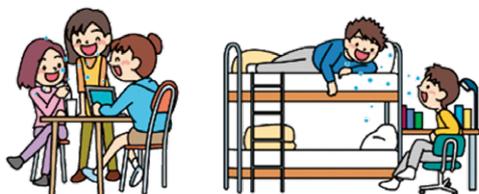


場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- ・長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒は、短時間の食事に比べて感染リスクが高まります。
- ・大人数（例えば5人以上）の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため感染リスクが高まります。

場面③ マスクなしでの会話

- ・マスクなしに近距離で会話をするので、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まります。
- ・マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されています。
- ・車やバスで移動する際の車中でも注意が必要です。



場面④ 狭い空間での共同生活

- ・狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため感染リスクが高まります。
- ・寮の部屋やトイレなどの共有部分での感染が疑われる事例が確認されています。

場面⑤ 居場所の切り替わり

- ・仕事での休憩時間に入ったときなど、居場所が切り替わると気の緩みや環境の変化により感染リスクが高まることがあります。
- ・休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されています。



成田空港温泉空の湯
オリジナル「タイルアート」



▲昨年の除幕式で披露された「タイルアート」(12月10日)。二つを同時に並んで見ることができる貴重な一枚。

成田空港温泉空の湯が、未だコロナ禍の収束が見通せず厳しい状況に置かれている航空業界に向けて、この状況を乗り越えて従来の活気を取り戻してほしいという願いや、共に発展してきた成田空港周辺地域の企業として心から応援したいという気持ちを込めて、展望露天風呂に設置する「タイルアート」を制作しました。

制作したのはタイルなひとKATSUさんで、男湯は「ツル」を主役としたナスカ文化を感じさせるデザイン、女湯は「カメ」を主役としたハワイを感じさせる鮮やかなデザインとなっています。

昨年の除幕式ではタイルアートがお披露目されるとともに、地元企業の皆さんなどから寄せられた応援メッセージが航空会社の皆さんに手渡されました。